

令和3年度の総合計画改定に係る取組について

1 令和3年度に実施した取組の全体概要について

令和3年度については、現行計画の中間評価（政策評価）を実施するとともに、改定基本計画の策定方針を定め、総合計画市民懇談会の開催やSNSを活用した若年層との意見交換の実施など、改定に向けた調査等を中心に実施

No.	項目	取組状況等
1	総合計画改定基本計画策定方針の決定	<p>【改定基本計画策定方針のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本構想に掲げる「将来のうつのみや像（都市像）」を実現するため、概ね2030年頃を見据えた具体的なまちの姿「スーパースマートシティ」を目指す。 現計画の策定以後に生じた新たな社会潮流を的確に捉えるとともに、多様化・複雑化する課題に対応するために、分野横断的な施策や各政策分野をけん引する戦略的な事業に重点化した計画とする。 <p>【取組経過】</p> <p>R3.11 改定基本計画策定方針の決定 策定方針に係る議会総合計画調査特別委員会への説明</p> <p>R3.12 策定方針に係る全庁説明会の開催</p>
2	政策評価の実施	<p>【実施概要】</p> <p>前期計画に掲げた政策（基本施策）の目標の達成度や施策の進捗状況に基づき、評価を実施</p> <p>【取組経過】</p> <p>R4.1 政策評価に係る議会総合計画調査特別委員会への説明</p>
3	庁内若手職員によるワークショップの開催（うつのみや未来創造プロジェクト）	<p>【取組概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所管する分野に捉われない多様な意見を集約するとともに、若手職員の政策形成能力向上のための機会として設置 10年後のあるべき姿に向けたキーワードや、今後必要となる施策・事業に係るアイデアについて意見交換を実施 <p>【意見の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯が自然にふれあえたり、地域の仲間と顔を合わせられる場所が身近にあると良いのではないかと。 70歳からダンスを始めたり、90歳からキックボクシングを始めたりするなどの例がある。年齢に関係ない挑戦ができる社会になると良いのではないかと。 自治会をはじめ、既存のまちづくり組織は年長者が多く若者が参加しにくいとため、SNSを活用するなど、若者が参加

No.	項目	取組状況等
		<p><u>しやすい環境を整備できないか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリエイターが活動する場や創作物を発表しやすい環境の整備と、メジャーデビューへの支援を一体的に行うことで、<u>若いクリエイターを発掘・育成できるのではないか。</u> ・ <u>車が入れない環境</u>に加えて、<u>歩いて楽しめるような環境</u>があると、より快適な環境整備につながるのではないか。 <p>【取組経過】</p> <p>R3.12 第1回ワークショップの開催 R4.2 第2回ワークショップの開催</p>
4	<p>SNSを活用した市民意見交換会 (宇都宮×未来フォーラム)</p>	<p>【実施概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い市民等から意見を聴取するため、<u>SNS (slack) 上で宇都宮のまちづくりについて意見交換する場</u>を設置 ・ <u>「人口減少・少子化対策」</u>、「<u>まちのデジタル化促進</u>」、「<u>脱炭素社会の実現</u>」の3つのテーマに基づき、今後必要となる取組等について議論 <p>【意見の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚して家庭を持つことにリアリティを持ってないため、<u>若者の漠然とした不安を取り除くモデルケースをPR</u>していくと良いのではないか。 ・ <u>駅前や中心部に若者や子育て世代が集まる空間が少ない</u>ため、広場や公園があると地域住民の交流の場となり、若者や子育て世代が集まる空間になるのではないか。 ・ <u>メタバース空間</u>を用いて「宇都宮 JAZZメタバースランド」や「カクテルランド」等のイベントを行うことで、<u>関係人口を増やし、移住先として選んでもらうきっかけをつくる</u>こともできるのではないか。 ・ 働き方として<u>テレワークが選択できれば移動が少なくなり、脱炭素に貢献できる</u>のではないか。 ・ また、「<u>もったいない運動</u>」におしゃれなイメージを付加し、イメージ改善を図ることで、環境配慮活動に取り組む人が増えるのではないか。 <p>【取組経過】</p> <p>R3.11 第1クールの開催（33名参加） R4.1 第2クールの開催（26名参加）</p>

No.	項目	取組状況等																
5	専門家ヒアリングの実施	<p>【実施概要】 より先駆的な視点を総合計画に盛り込んでいくため、人口減少、脱炭素化、ICT活用等の先駆的な研究・取組を行っている専門家等にヒアリングを実施</p> <p>【取組経過】 R3.11 京都大学 広井 良典 教授（人口減少対策について） 国立環境研究所 亀山 康子 氏（脱炭素政策について） 東京大学 村山 顕人 准教授（NCCのあり方について） R4.1 日本総研 東 博暢 氏（ICTの利活用について）</p>																
6	人口減少対策に係るアンケート調査の実施 ⇒ 参考資料1 参照	<p>【実施概要】 未婚者や子育て世帯等を対象に、結婚や子育てに関する意向や実態を調査し、結婚や子育てに係る特徴や課題を分析することで、より効果的な施策を検討</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>対象者</th> <th>配布数</th> <th>回収数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未婚者 (市内在住)</td> <td>2021年10月1日現在で未婚の20歳～49歳が対象</td> <td>1,500</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>市外転出者</td> <td>令和2年2月～令和3年1月の1年間に東京圏に転出した20歳～49歳</td> <td>1,000</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>子育て世帯 (市内在住)</td> <td>アンケート送信時点の「教えてミヤリー」登録者が対象</td> <td>約 9,000</td> <td>298</td> </tr> </tbody> </table> <p>【取組経過】 R3.11 調査実施 R4.3 結果の取りまとめ</p>	種類	対象者	配布数	回収数	未婚者 (市内在住)	2021年10月1日現在で未婚の20歳～49歳が対象	1,500	202	市外転出者	令和2年2月～令和3年1月の1年間に東京圏に転出した20歳～49歳	1,000	138	子育て世帯 (市内在住)	アンケート送信時点の「教えてミヤリー」登録者が対象	約 9,000	298
種類	対象者	配布数	回収数															
未婚者 (市内在住)	2021年10月1日現在で未婚の20歳～49歳が対象	1,500	202															
市外転出者	令和2年2月～令和3年1月の1年間に東京圏に転出した20歳～49歳	1,000	138															
子育て世帯 (市内在住)	アンケート送信時点の「教えてミヤリー」登録者が対象	約 9,000	298															

2 調査・意見聴取結果の総合計画改定への活用について

令和3年度に実施した各種調査・意見聴取の内容については、現行計画の基本施策ごとに整理した上で、「スーパースマートシティ」の実現に資する施策・事業（戦略事業）の導出において活用する。